

請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

1 署 等 名	木曾森林管理署
2 事業の種類	治山事業（黒木ヶ沢復旧治山工事）
3 災害発生日時等	令和 5年 8月 7日（月） 14時05分頃発生 怪我の程度：左肩甲骨骨折、骨盤骨折、腰骨（椎体）の欠損 休業見込み：3カ月以上（入院2週間程度〜リハビリ）
4 災害発生場所	長野県木曾郡木曾町 城山国有林725い林小班
5 契約相手方	株式会社 吉澤組
6 事業実行事業体	同 上（下請 丸架索道株式会社）
7 被災者年齢等	年齢： 68 歳 性別：男 2の事業の経験年数： 45 年 雇用区分：会社役員 社会保険等加入状況： <u>労災</u> 、 <u>雇用</u> 、 <u>健康</u> 、厚生、林退
8 従事作業	ケーブルクレーン設置作業
9 災害概況	<p>ケーブルクレーン設置準備のため、被災者Aと同僚Bの2名で集材機のアンカーを設置するための立木等の確認を行っていた。14時00分頃、被災者Aは林道法面上部での確認を終え下山に向かったところ、斜面が急（約50°～60°）であったため安全のためにロープが必要と考え、林道に戻っていた同僚Bにロープを投げるよう声をかけた。同僚Bは林道から被災者Aに向かってロープを投げたが被災者Aまで届かなかったため、被災者Aがロープを取りに林道法面上部から斜面を降りたところ足元が滑り、林道法面を約6m滑落し林道に転落した。</p> <p>被災直後に同僚C（現場代理人補助員）が駆けつけ被災者Aに声をかけたところ意識がなかったため、直ちに救急車を要請するとともに現場代理人に報告を行った。報告を受けた現場代理人は直ちに被災現場に駆け付けたところ被災者Aの意識は回復していた。</p> <p>14時20分頃救急車が現地に到着、救急隊の判断によりドクターヘリを要請。ヘリポートとなる木曾町内上田地籍（旧上田小学校グラウンド）に救急車で被災者Aを搬送。15時10分頃ヘリポートからドクターヘリで松本市の信州大学医学部附属病院へ搬送された。</p> <p>17時00分頃、病院にてCT検査等を実施、頭部に異常はないものの左肩甲骨の骨折、骨盤の骨折、腰骨（椎体）が欠けているとの診断を受けた。</p>
10 その他特記すべき事項	<p>8月7日 警察署による現場検証 木曾森林管理署による現場確認</p> <p>8月8日 社内安全指導を実施 木曾森林管理署の現契約中の事業体に対して監督員より安全指導を実施</p>

災害発生箇所位置図
長野県木曾郡木曾町福島6412番地
城山国有林 725林班い小班



信州大学医学部付属病院

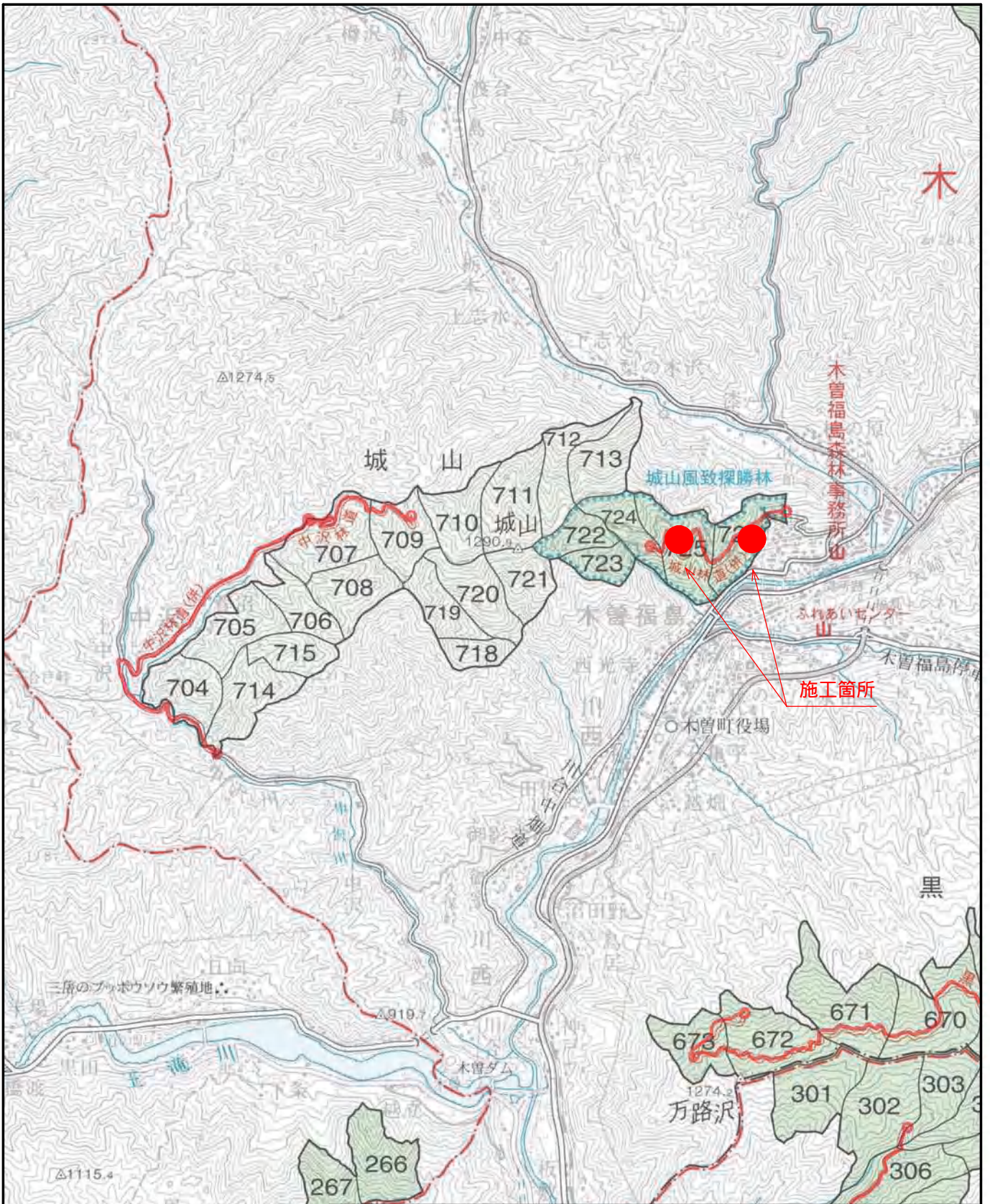
ドクターヘリで搬送 60分

救急車で搬送 3 km

災害発生箇所

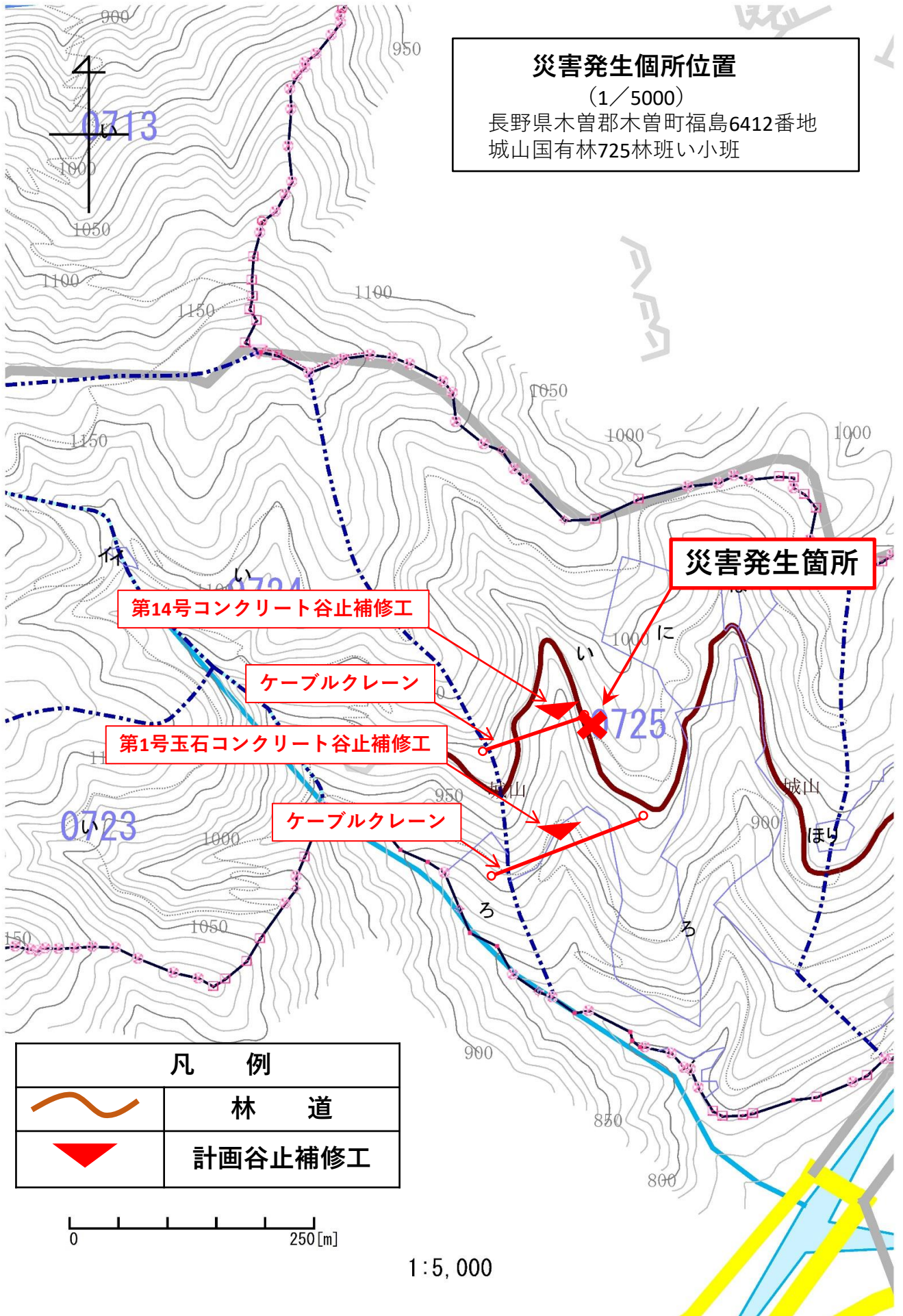
へりポート(旧上田小学校)

木曾森林管理署



年 度	令和 5 年度			
図 面 名	位 置 図			
施 工 地	長野県木曾郡木曾町 城山国有林725林班ほか			
工 事 名	黒木ヶ沢復旧治山工事			
図面番号		縮尺	1/50,000	
設 計 者		製 図 者	審 査 者	
中部森林管理局		木曾森林管理署		

災害発生個所位置
 (1/5000)
 長野県木曾郡木曾町福島6412番地
 城山国有林725林班い小班



第14号コンクリート谷止補修工

ケーブルクレーン

第1号玉石コンクリート谷止補修工

ケーブルクレーン

災害発生箇所

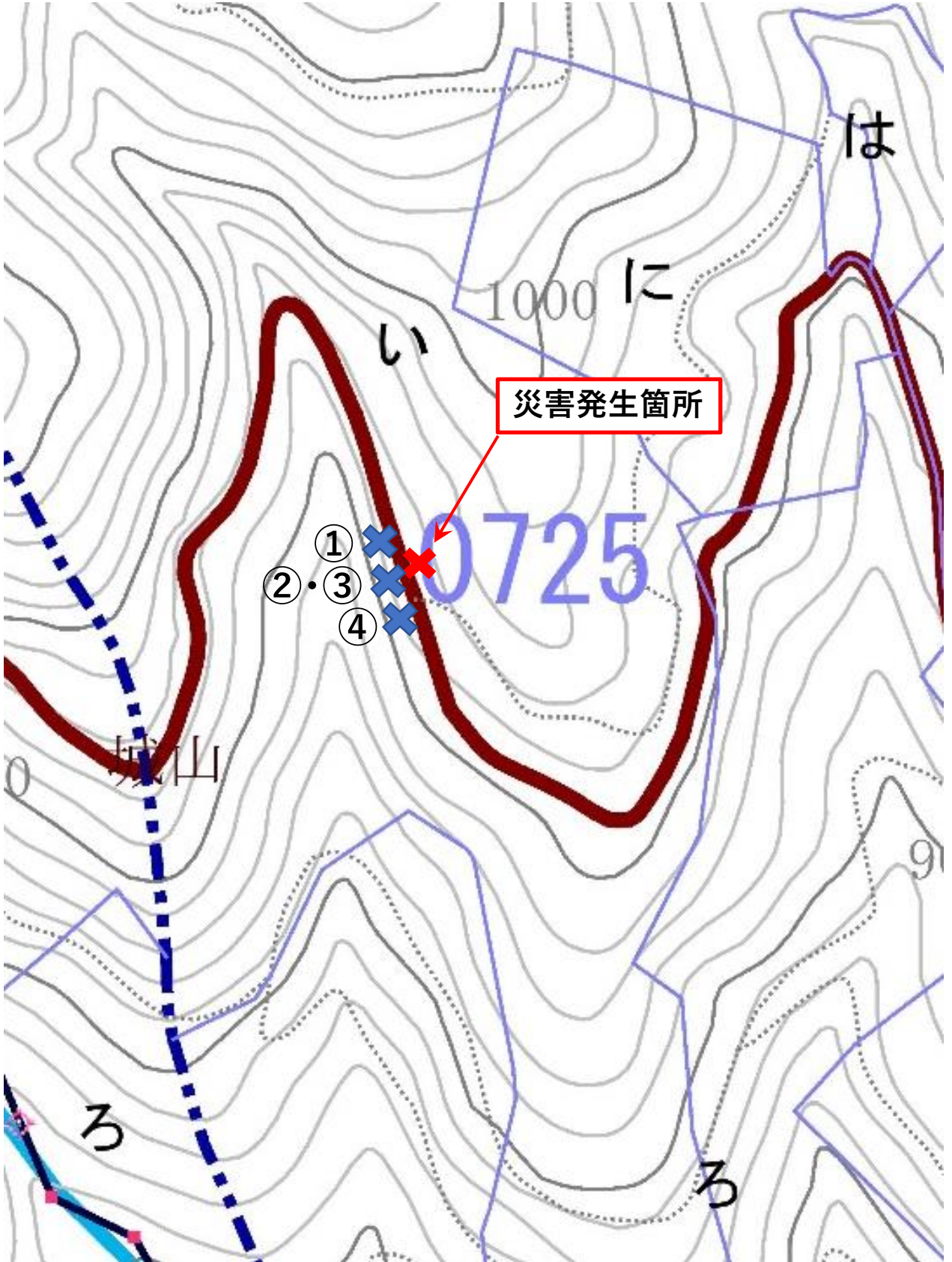
凡 例	
	林 道
	計画谷止補修工



1:5,000

災害箇所概要写真撮影位置図

✕ 撮影位置



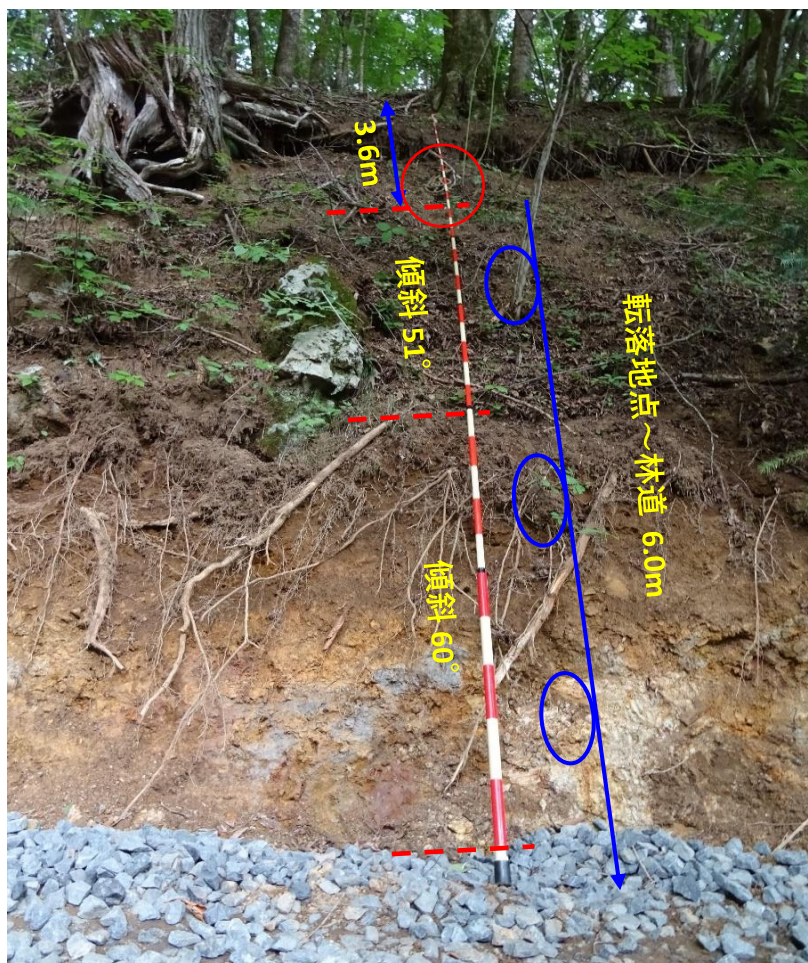
〔災害箇所概要写真〕



① 索道架設のための先柱となるモミを確認するため、林道の脇にある大型土のうの横を登り先柱となるモミの木へ横移動して向かい確認。



② 確認後、モミへロープを巻き林道へ降りるため、林道からロープを投げてもらったが林道から6.0mの地点に落下。



- ③ 斜面に落下した地点に移動しロープを拾おうとしたところ、体制を崩し傾斜51°～60°の斜面を体を強く打ちながら林道まで6.0m転げ落ちた。



- ④ 斜面から体を強く打ちながら転げ落ち、林道上にうつ伏せとなった状態で被災した。林道上に落下した直後、意識はなかったが、その後、意識を取り戻した。

